平成29年 新年のごあいさつ

幕別町長
飯田　晴義

謹んで年始のごあいさつを申し上げます。

希望に満ちた新春を皆様とともに迎えられますことを心から感謝申し上げます。

昨年は、8月の台風に伴う大雨や浸水により、相川・猿別地区を中心とした住宅被害をはじめ、農作物の冠水被害や商工業にも被害が及ぶなど、これまでに経験したことのない大きな災害に見舞われ、日頃からの防災への備えがいかに大切であるかを考え直す一年でした。

改めて被災された皆さまにお見舞い申し上げ、引き続き復旧支援に努めてまいります。

また、農業者にとっても長雨の影響による農作物の生育不良や収穫の遅れ、品質の低下など大変厳しい年となりました。

明るい話題としては、リオデジャネイロ五輪が開催され、町出身の陸上競技の福島千里さん、マウンテンバイクの山本幸平さん、女子7人制ラグビーの桑井亜乃さんの3人もの選手が出場したことは町の誇りであり、最後まで諦めないひたむきな姿に感動したところです。

また、11月には江陵高等学校の古谷優人さんが福岡ソフトバンクホークスに入団し、町初のプロ野球選手が誕生するなど、スポーツの話題が多い一年でした。

合併10周年、開町120年の大きな節目を終え、今年は新たなスタートを迎える年となります。その一つとして、今後10年のまちづくりの指針となる町の総合計画を策定します。

近年の地方行財政を取り巻く状況は大変厳しく、加速する少子高齢化と人口減少、防災対策など、多くの課題がありますが、町民の皆さんとの対話を大切に、まちに対する思いや期待をしっかりと受け止め、一緒にまちづくりを進めていきたいと考えております。

今年一年、皆さまがご健勝で幸多い年でありますようご祈念申し上げ、新年のごあいさつといたします。

幕別町議会議長
芳滝　仁

謹んで新年のごあいさつを申し上げます。

輝かしい新年を、町民の皆様とともにお迎えできることを心からお喜び申し上げます。

また、日頃より、町政の発展と議会運営に対して多くのご支援とご協力を賜り深く感謝申し上げます。

昨年は、8月中旬に上陸した3つの台風に加え、8月30日から北海道に接近した台風10号による大雨はわが町にも甚大な被害を与えました。

改めて被災された皆様にお見舞いを申し上げ、議会と町が一体となって復旧に全力で取り組んでまいります。

一方、明るい話題としては、8月に開催されたリオデジャネイロ五輪に、北京、ロンドンに続く3大会連続出場となる陸上女子短距離の福島千里さんとマウンテンバイククロスカントリーの山本幸平さん、初出場となる女子7人制ラグビーの桑井亜乃さんの町出身選手3人が出場し、その雄姿は多くの子どもたちと日本中の人々に夢と希望、感動を与えてくれました。

また、昨年、幕別町応援大使として任命された北海道日本ハムファイターズの大谷選手、市川選手の活躍による日本シリーズ優勝は、勇気とあきらめないことの大切さを教えてくれました。

今年は、平成30年度から始まる幕別町総合計画を策定する重要な年です。

議会の果たすべき役割と責任を自覚し、皆様の声を町政に反映しながら、今後10年、さらにその先も幕別町が発展を続け、住んでよかったと実感できるまちづくりの計画となるよう、議員一同全力で取り組んでまいります。

今後とも変わらぬご支援とご協力をお願い申し上げますとともに、新しい年が皆様にとって平和で素晴らしい年でありますよう心からご祈念申し上げ、年頭のごあいさつといたします。

新春特別対談

幕別町長

飯田晴義 × 古谷優人

HARUYOSHI IIDA

江陵高等学校3年

YUTO FURUYA

昨年10月に福岡ソフトバンクホークスからドラフト2位指名を受け、幕別町初のプロ野球選手となる江陵高等学校3年生の古谷優人さんを迎え、今後の抱負やプロとしての心構え、野球に対する思いなどを飯田町長と語っていただきました。

古谷 優人（ふるや・ゆうと）
1999年（平成9年）生まれ・17歳
身長176cm、体重76km
投手・左投げ左打ち
札内南小学校、札内中学校卒業
小学校3年生で野球を始め、2014年に江陵高等学校入学。2016年7月、北北海道大会で20奪三振の大会新記録を樹立。投手で1番打者としてチームを牽引し、江陵高等学校野球部初のベスト4となる準決勝まで勝ち進んだ。

飯田 晴義（いいだ・はるよし）
1955年（昭和30年）生まれ・61歳
身長173cm、体重73km
帯広柏葉高等学校、高崎経済大学経済学部卒業
2015年5月幕別町長に就任。趣味はスポーツ観戦（特に野球、スケート）

厳しいプロの世界でも「野球が好き」という強い気持ちを忘れないで

飯田町長　まずは、福岡ソフトバンクホークスへの入団おめでとうございます。幕別町初のプロ野球選手の誕生を本当に誇りに思っています。

古谷さん　ありがとうございます。

飯田町長　９月にプロ志望届を出した時、指名される自信はありましたか？

古谷さん　７月に北北海道大会が終わり、自分のやるべきことはすべてやった、という思いだったので、期待はしつつも膨らませず、という気持ちで指名を待っていました。

飯田町長　プロで野球をやりたいという思いは強かった？

古谷さん　どこの球団でもいいという気持ちでプロ志望届を出したので、とにかく指名されればどこでも一軍で活躍する選手になるぞって思っていました。

飯田町長　いいですね～（笑）そういう強い気持ちが何よりも大切だと思います。私は北海道日本ハムファイターズのファンなので、ぜひ日本ハムに入団して欲しいと願っていたんですが…。

古谷さん　地元北海道の球団なので、指名されたらいいなとは思っていました。

「本気で野球やるしかない」

飯田町長　11月にソフトバンクと正式契約をしたとき、球場や練習施設などを見てどう感じましたか。

古谷さん　福岡ヤフオク！ドームは札幌ドームと違って観客がいなくても圧迫感というか威圧感があって、これがプロが戦う舞台なんだ、と感じましたし、寮はトレーニング施設や治療室もあり、想像していた以上に素晴らしい施設でした。野球に打ち込める環境が整っていたので、「本気で野球やるしかない」と気が引き締まりました。

飯田町長　目標としている投手は？

古谷さん　ソフトバンクの和田投手のように、ストレートだと分かっていても打たれない球が投げられる投手になりたいです。自分は球が速いので速球派と見られがちですが、スライダーにも自信があるので投球術も磨きたいです。

飯田町長　工藤監督もピッチャー出身で左投げ、体格も古谷さんと似ているので的確なアドバイスがもらえそうですね。工藤監督とはどんな話を？

古谷さん　将来は先発ローテーションに入ってほしいと激励されました。1日でも早く一軍で投げたいですね。

飯田町長　ソフトバンクには武田選手や千賀選手など活躍している若いピッチャーが多いのでやりがいがありますね。一軍の試合では誰に投げてみたいですか？

古谷さん　こんな事を言える立場ではないですが、WBCで選抜に出ているバッターと勝負してみたいです。

早く一軍デビューして夢や勇気、希望を感じてもらえる投手になりたい

野球部の監督、仲間がいたから今がある

飯田町長　いつからプロ入りを目標に？

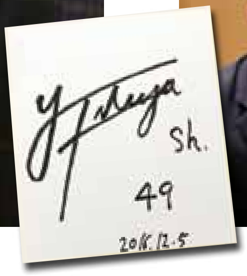
古谷さん　高校2年の秋の大会で球速148kmが出て、そこから本気でプロ入りを目指しました。プロ志望届を出すか迷っていた時、同級生から「お前はプロに行け」と背中を押され、決意できました。ドラフトで指名をいただいたときも、仲間が自分のことのように喜んでくれたので本当に嬉しかったです。野球部のみんながいたからこそプロ野球選手になれたと思っています。

飯田町長　これまでを振り返って、成長したな、と感じる場面はありますか。

古谷さん　これも高校2年のときですが、練習試合で自分勝手なプレーをして監督に怒鳴られたときから、自分のことだけじゃなくチームのことを考えてプレーするようになりました。野球に対する姿勢も変わったし、技術も向上したと思います。体力面も精神面も厳しく指導されたので、プロの世界でもやりきれると思います。

飯田町長　スポーツ選手にはグッと伸びる転機が何度かあって、そのひとつが指導者との出会いだと思います。これからも良い指導者のもとでの活躍を願っています。最後に町民の皆さんにメッセージを。

古谷さん　幕別町のみなさんは日本ハムのファンが多いと思いますが、いつか自分が札幌ドームの試合で投げることができたら、みなさんに夢や勇気、希望を感じてもらえるような投球をしたいと思っています。これからもぜひ応援してください。よろしくお願いします。



❶高校２年で野球部主将に。３年間で人間的にも大きく成長できたと古谷さんは語った。 ❷2016年10月22日、福岡ソフトバンクホークスから念願の指名を受け、苦楽を共にした野球部の仲間たちと歓喜に湧いた。 ❸対談の最後に、古谷さんのサイン入りボールと色紙がプレゼントされた。